



『たいせつなぎゅうにゅう』
キッチンミノル/著 (白泉社) 1,320円

たんぼほくじょうの いちにちは、ごぜん4じはん、ほうぼくちで よるをすごした うしたちが、ぎゅうしゃへ もどるところから はじまります。うしたちのあさごはん、ちちしほり、ぎゅうしゃのそうじ…。ぼくじょうのおしごとを、しゃしんで のぞいてみましょう！

なつやすみ 令和4年7月
よんでみたな、こんなほん

時津町立小学校図書室・時津町立時津図書館 司書推薦図書
※税込み価格

『こんなおおきなかず、みたことある？』

100,000,000,000,000,000,000,000のほし』
セス・フィッシュマン/作 イザベル・グリーンバーグ/絵
竹内 薫/訳 (偕成社) 1,650円

うちゅうには、どのくらいたくさんほしの星があると思う？それは、数えることができないくらいおおの大きな数。地球にもたくさんおおの大きな数がかくれているよ。休みの間に、きみのまわりにある大きな数をさがしてみよう。



『コックローさんのすっきりおそうじ』

読書工房/編著 (国土社) 3,520円

なつやすみ、夏休み、いつもより長い時間を過ごす場所だから、家のなかをすっきりそうじしよう！リビング、玄関、トイレに浴室…。写真やイラストを使って、場所ごとのそうじのしかたをわかりやすくおしえてくれます。



『あるひ あるとき』

あまん きみこ/文 ささめや ゆき/絵
佐藤 仁史/解説監修 (のら書店) 1,650円

だいにじせかいだいせん 第二次世界大戦を中国の大連で過ごしたわたし。戦争中わたしとこけしのハッコちゃんはどこへ行くのにも何をするのもいつもいっしょ。それなのに、大人になったわたしのそばにハッコちゃんはいない。ハッコちゃんはどこに…。



『神様のパッチワーク』

山本 悦子/作 佐藤 真紀子/絵 (ポプラ社) 1,430円

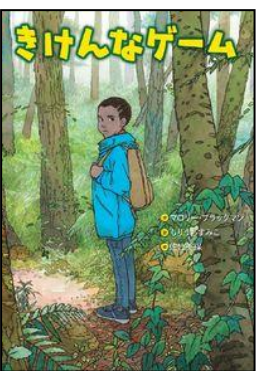
おねちゃんとはくは特別養子縁組で今の両親の子どもになった。バラバラのところからやってきて一つの家族になったぼくたちは、バラバラの布を縫い合わせて作るパッチワークのよう。家族の幸せに、血のつながりって大事なの？



『きけんなゲーム』

マロリー・ブラックマン/作 もりうち すみこ/訳
佐竹 美保/絵 (文研出版) 1,430円

うまれつきの病気のため、サムはいつもいろいろなことがまんしてきた。でも、ついに、両親が許してくれた。林間学校に行ける！ところが、同じチームになったブランドンたちのあるたくらみで、サムの身にきけんがふりかかるとに。



『海ガラスの夏』

ミシェル・ハウツ/文 バグラム・イバトゥーリン/絵
島 式子/訳 島 玲子/訳 (BL出版) 1,760円

海ガラスは、海に落ちたガラスが波や砂にもまれて丸くなったもの。その一つ一つに物語があるという。トーマスの海ガラスは、どんな旅をしてきたのでしょうか。



『ヒロスケながさき100のひみつ』

山口 広助/監修 山本 志保/イラスト
高浪 利子/編集 (長崎文献社) 1,650円

ながさきいちみじか 長崎一短「踏切？」「橋に2つの名前？」ときつちょう 時津町のおとなり、ながさきし 長崎市。そこにある100のひみつ、知りたくありませんか？ 知れば、きっとそこに行きたくなる。そんな1冊です。

『絵で見る統計 世界の国ぐに』

ミレイア・トリウス/文 ジョアナ・カザルス/絵
宇野 和美/訳 中山 映/訳 (あすなろ書房) 2,750円

あなたは世界のことを、どれくらい知ってる？ 一番夏休みが長い国は？ 一番宿題が多い国は？ スペインの女の子のロシアとめぐる、あなたが知らない世界のいろいろ。読み終わるころには、世界がちよっぴり身近に感じられているはず。



『天の台所』

落合 由佳/著 (講談社) 1,540円

料理上手な祖母が亡くなって、6年生の天の家では台所に立つ人がいなくなった。祖母との別れにも向き合えないまま、家族の生活は荒れるばかり。ところが、ほんなことから近所の「がみババ」に料理を教わることになった天。思いがけない料理修行は、やがて家族の絆を結びなおしてゆく…。



『完司さんの戦争』

越智 典子/文 コルシカ/絵・漫画 (偕成社) 1,760円

兵隊として戦地に行った完司さんは、すぐ近くに爆弾が落ち、片足をなくしてしまった。命からがら逃げるとき、シダのしげみに隠れて息をひそめた。米兵はすぐそばを通り過ぎて行った。これは戦争を体験した人が語る本当の話です。



『九色のしか 中国の昔話』

リン・シュウスイ/文 リャオ・ジャンホン/絵
宝迫 典子/訳 (廣済堂あかつき) 1,760円

人をうつくしくするという薬草を求め、王妃の命令で森へ入った薬草とり。ところが、そこで見つけたのは、光かがやくうつくしい九色のしかだった。しかは薬草とりに、自分のことはひみつにするよう言うのだが…。

『せんそうがやってきた日』

ニコラ・デイビス/作 レベッカ・コップ/絵
長友 恵子/訳 (鈴木出版) 1,650円

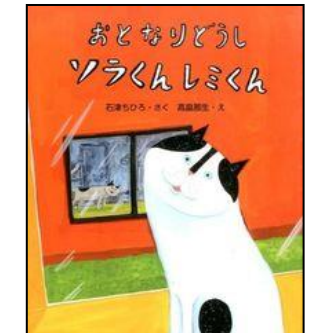
朝はいつものように始まったのに、学校でのランチタイムのすぐ後に、せんそうがやってきた。どこまでもおいかけてくるせんそう。せんそうからのがれてきたわたしへ、差し出されたものは？



『おとなりどうし ソラくんレミくん』

石津 ちひろ/さく 高畠 那生/え (理論社) 1,210円

とーってもなかよしのソラくんとレミくん。ある日、さんぼしていると、どこからかいいにおい。それはだいすきなおさかなでした。おさかなをかけてふたりはジャンケンをしました。さてさて、どっちがかつのかな？ソラくんとレミくんのゆかいでたのしいまいにちを、ちょっとのぞいてみよう。



『ぞうのたまごのたまごやき (寺村輝夫の王さまシリーズ1)』

寺村 輝夫/作 和歌山 静子/絵 (理論社) 1,430円

王さまは、大好きなたまごやきを国中の人にちそうすることにしました。でも、にわとりは一度にたくさんたまごをうめません。「そうだ！ぞうのたまごをつかおう！」と考えた王さまは、トラックで出かけていきます。ぞうのたまごは見つかるのかな？

